

会 議 録 要 旨

会 議 名		平成28年度 第7回藤沢市下水道運営審議会	
開 催 日 時		2016年(平成28年)10月18日(火) 午前10時00分～午後0時07分	
開 催 場 所		藤沢商工会館ミナパーク502会議室	傍聴者数 0人
出席者	会 長	神田 務	
	委 員	井上 美鈴・菊田 稔・川田 兼子・木村 安代 永島 柳子・大岩 英一・須田 千亜希・布川 晃	
	事 務 局	鈴木市長 田代部長 土木計画課：鈴木参事・工藤専任補佐・平本補佐・小野寺・小川・村田・吉原 下水道整備課：張ヶ谷課長・毛利補佐・坪井補佐 下水道施設課：浅場参事・真間主幹 浅井辻堂浄化センター長・中丸補佐 加藤大清水浄化センター長・一ノ瀬補佐 土木維持課：北村参事・平田主幹・鈴木専任補佐 下水道業務課：広田参事・齋藤主幹・山本補佐	
議題及び公開・非公開の別		<ol style="list-style-type: none"> 1 藤沢市公共下水道事業の概要について 2 藤沢市下水道会計のしくみについて 3 平成27年度下水道事業費特別会計決算について 4 社会資本総合整備計画事後評価について 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 環境フェアについて (2) 藤が谷ポンプ場故障による未処理下水の河川放流について <p style="text-align: right;">(すべて公開)</p>	
非 公 開 の 理 由			
審 議 等 の 概 要		<p>《議題》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 藤沢市公共下水道事業の概要について 2 藤沢市下水道会計のしくみについて 3 平成27年度下水道事業費特別会計決算一括で説明。 <p>【質疑】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①下水道計画図では、南部処理区に橙色とピンク色の2種類の色がついているが、これは何を表しているか。 《回答》橙色のところは合流式で1つの下水道管で汚水と雨水を処理しています。ピンク色のところは分流式で、汚水管と雨水管の2本の下水道管で処理しています。処理方式の違いを色で表しています。 ②松下電器の跡地や湘南C-Xについては南部処理区であるが、処理形態は分流式になっているのか。 《回答》松下電器の跡地や湘南C-X内では分流式になっています。しかし流末では、汚水と雨水が一緒になっているので、合流式としています。 ③水洗化率には、合併浄化槽を使用している世帯は入っていないと思うがどうか。 《回答》水洗化率は、あくまで下水の処理が可能な地域にお住まいの方の中で、下水を使っている方の割合をあらわしていますので、水洗化率には入っておりません。 ④経費回収率が平成27年度末で90.8%とあるが、今回下水道使用料の値上げをするとどうなるか。100%にいかないまでも、どのようになるのか。 《回答》今回の下水道使用料の値上げ分は、老朽化した管渠の修繕費などにあてられます。その分の使用料が増えるだけで、経費回収率が改善するほど影響はありません。 ⑤経費回収率は100%が望ましいとなっており、今後ははまた値上げが必要になると考えてよいか。 《回答》今回は3年間の必要な経費分だけ値上げしています。それ以降は、効率的な維持管理を考えて、できるだけ費用を圧縮できるように取り組み、100%を目指していきたいと考えています。 	

⑥平成26年度以降の流動比率はそれまでと比べ下がっており、これは、平成26年度から地方公営企業会計制度の見直しに伴って会計基準が変更したため減少しているとあるが、平成23年度から25年度分もその基準でやったら数値はどうなるのか。

《回答》次回以降に試算してお示しします。

⑦藤沢市の有収率（年間有収水量÷年間汚水処理水量）はどのような値か。汚水処理費の削減のため、不明水の調査や確実な接続の徹底が必要であると思う。

《回答》有収率は平成26年度では78%となっています。不明水とは、下水道管への誤接続や、下水道管の破損箇所からの浸入水によって発生している、お金を徴収できずに下水道を処理しているものです。これまで取り組みはしておりますが、引き続き地区を選定し、絞りながら対処をしていき、有収率を引き上げたいと考えています。また、接続推進につきましては、本市は水洗化率が98%と県内でもかなり高い方であり、引き続き努力していきたいと考えています。

⑧流動比率が平成26年度から27年度にかけて11.2ポイントも増えている原因は何か。

《回答》流動比率は、流動資産を流動負債で割ったものですが、平成27年度は、流動資産である現金預金が増えたため流動比率が上昇しています。これは、東京電力から損害賠償金が約4億円入ったことによるものです。

4 社会資本総合整備計画事後評価について 事後評価の仕組みを説明。

【質疑】

⑨事前に国に計画書を出す時に、具体的な数値目標を掲げているのか。

《回答》資料の6ページに記載のとおり、計画の成果目標（定量的指標）を掲げており、国に提出するとともに、市のホームページで公表しています。

⑩事後評価の案の作成ということで、事業の実施状況に関する事など3つ掲げているが、他にもいろいろな項目があると思うが、国からこういう形で提出するよう言われているのか。

《回答》国で規定する要綱等により、事後評価に関してこの3項目を列挙することになっています。

⑪中間の評価はしているのか。

《回答》必要に応じてやることになっており、今回はやっておりません。

5 その他

(1) 環境フェアについて

11月12日の土曜日に藤沢市民会館で開催される「第21回ふじさわ環境フェア」にて、下水道事業のPRを行う旨説明。

(2) 藤が谷ポンプ場故障による未処理下水の河川放流について

10月6日に発生した、藤が谷ポンプ場の主流入ゲートの故障による、未処理下水の河川放流の経緯について報告。

【質疑】

⑫ゲートが電動で開かない場合、一般的には手でハンドル操作をするかと思うが、そうしなかったのか。

《回答》スピンドル周辺部分が損傷したため、手動でもハンドルが回らない状態になってしまいました。

⑬主流入ゲートは常に開いていないのか。

《回答》一般的には主流入ゲートは開いていますが、今回は除塵機に詰まった「し渣」を取り除くため閉めて作業をしました。

⑭主流入ゲートではなく、池のゲートを閉めることはできなかったのか。

《回答》今回は、流入ゲートでなく主流入ゲートを操作して対応にあたりました。

⑮いつ頃作ったものか。歯車もその当時のものか。

《回答》ポンプ場が設置されたのは昭和43年です。詳しい部品の交換等の状況がないので詳細はわかりませんが、主要な機械部品やゲート本体は昭和43年に設置されたままです。

審議会終了後

《施設見学（辻堂浄化センター）》

そ の 他